

## 医療機関の先生方へ

麻しん、風しんと診断した場合には、早期に発生を把握し、感染拡大を防ぐため、遺伝子検査のための検体採取に御協力をお願いいたします。

麻しん ①～③全てを満たす方は、麻しん（臨床診断例）となります。

- ①麻しんに特徴的な発疹
- ②発熱
- ③咳嗽、鼻水、結膜充血などのカタル症状

風しん ①～③全てを満たす方は、風しん（臨床診断例）となります。

- ①全身性の小紅斑や紅色丘疹
- ②発熱
- ③リンパ節腫脹



保健所に電話連絡の上、発生届を提出してください。（診断後速やかに）



遺伝子検査のための検体採取をお願いします。

咽頭ぬぐい液      血液      尿

できるだけ3種類採取してください

\*別記様式1の提出もお願いします。



感染予防のための保健指導をお願いします。

検査機関に検体搬入の翌日午後頃に、陰性・陽性が判明します。

### 【検体の採取方法】

検体の種類	採取方法
咽頭ぬぐい液	滅菌綿棒で採取。空の滅菌スピッツに入れ、1～2mlの生理食塩水で綿棒を浸す。
血液（全血）	EDTA入りスピッツに5ml採取。 または、血算のスピッツに規定量を採取。
尿	滅菌容器に5～10ml採取。